

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	国語Ⅳ
科目基礎情報					
科目番号	0120		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	機械工学科		対象学年	4	
開設期	前期		週時間数	前期:2	
教科書/教材	テキストはない。毎時間資料を提示する。				
担当教員	畑村 学				
到達目標					
1、基本的な図の書き方を理解し、課題に即した図解資料を作成することができる。 2、図解資料を使って、課題に即したスピーチやプレゼンテーションをすることができる。 3、互いのスピーチやプレゼンテーションを通じて、テーマに関連した議論をすることができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限の到達レベルの目安 (可)	未達成レベルの目安 (不可)	
評価項目1	図解の方法を理解して、課題に即したかなり複雑な図解資料を作成することができる。	図解の方法を理解して、課題に即したやや複雑な図解資料を作成することができる。	図解の方法を理解して、課題に即した簡単な図解資料を作成することができる。	図解の方法を理解して、課題に即した図解資料を作成することができない。レジュメ資料のポイントを読解することができない。	
評価項目2	図解資料を使って、課題に即したかなり高度なスピーチやプレゼンテーションをすることができる。	図解資料を使って、課題に即したやや高度なスピーチやプレゼンテーションをすることができる。	図解資料を使って、課題に即した簡単なスピーチやプレゼンテーションをすることができる。	図解資料を使って、課題に即したスピーチやプレゼンテーションをすることができない。	
評価項目3	互いのスピーチやプレゼンテーションを通じて、課題に関連したかなり高度な議論をすることができる。	互いのスピーチやプレゼンテーションを通じて、課題に関連したやや高度な議論をすることができる。	互いのスピーチやプレゼンテーションを通じて、課題に関連した簡単な議論をすることができる。	互いのスピーチやプレゼンテーションを通じて、課題に関連した議論をすることができない。	
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	第1学期開催。 図解の基本的な書き方を理解し、課題に即した図解資料を作成し、作成した図解資料を効果的に使った、優れたスピーチやプレゼンテーションが行えるようになることを目指します。 構造的な図解を用いた資料の作成（図解力）、聞き手を意識したスピーチやプレゼンテーション（プレゼンテーション能力）、人のスピーチやプレゼンテーションを聞いて、質問やコメントをしたり、議論に参加したりする力（聞く力、質問力、コメント力）等を向上させます。				
授業の進め方・方法	図解の作成方法を学習した後、毎回さまざまな課題で図解資料を作成します。そして、作成した図解資料を使ってスピーチやプレゼンテーションを行います。課題は自己PRに関わるものを取り上げます。スピーチやプレゼンテーションは、オンラインで行います。 この科目は学修単位科目のため、事前・事後学習としてレポートを課します。				
注意点	授業ではレポートとして図解資料を作成します。授業の後半では、作成した図解資料を使ってオンラインでプレゼンテーションを行い、相互評価を行います。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス①	シラバスをもとに授業内容や到達目標等を理解できる。 今後の授業の方法について理解できる。	
		2週	図解ガイダンス	図解の方法について理解し、構造的な図解資料が作成できる。	
		3週	図解スピーチ・プレゼンテーション①	図解の方法について理解し、構造的な図解資料が作成できる。	
		4週	図解スピーチ・プレゼンテーション②	作成した図解資料を活用して、「宇部高専自己紹介書」の該当箇所を作成できる。	
		5週	図解スピーチ・プレゼンテーション③	作成した図解資料を活用して、「宇部高専自己紹介書」の該当箇所を作成できる。	
		6週	図解スピーチ・プレゼンテーション④	作成した図解資料を活用して、オンラインでプレゼンテーションができる。また、他者のプレゼンテーションを評価・コメントできる。	
		7週	図解スピーチ・プレゼンテーション⑤	作成した図解資料を活用して、オンラインでプレゼンテーションができる。また、他者のプレゼンテーションを評価・コメントできる。	
		8週	まとめ	授業の振り返りを通じて授業内容の理解を深めることができる。	
	2ndQ	9週			
		10週			
		11週			
		12週			
		13週			
		14週			
		15週			
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	3	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	
				実用的な文章(手紙・メール)を、相手や目的に応じた体裁や語句を用いて作成できる。	3	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	
新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3					

評価割合

	発表	レポート		合計
総合評価割合	40	60	0	100
知識の基本的な理解	20	40	0	60
思考・推論・創造への適応力	10	10	0	20
汎用的技能	10	10	0	20
態度・志向力(人間力)	0	0	0	0
総合的な学習経験と創造的思考力	0	0	0	0